

「学力向上ポートフォリオ(大谷場中学校版)」

学力向上目標

全ての生徒に対して、

① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(国・数)「知識・技能」に関する調査において、自校の平均正答率を令和元年度より1pt以上向上させる。

② 思考力、判断力、表現力の育成

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(数)「思考・判断・表現」に関する調査において、自校の平均正答率を令和元年度より1pt以上向上させる。

③ 主体的に学習に取り組む態度の育成

- ・さいたま市学習状況調査「(5教科)の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、令和元年度の値より2pt以上向上させる。

具体的な手立て

① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得

- ・1人1台端末を用いたドリルパークなどを活用し、基礎学力の定着を図る。
- ・全国学力・学習状況調査結果やさいたま市学習状況調査結果を分析し、本校生徒の課題を明確にし、授業改善と家庭学習の充実を図る。

② 思考力、判断力、表現力の育成

- ・各教科において、文章でまとめたり調べたことを発表したりする活動を積極的に取り入れた授業を展開する。

③ 主体的に学習に取り組む態度の育成

- ・1人1台端末を活用した学習を積極的に行い、生徒が意欲的に取り組めるようにする。
- ・チャレンジスクールで学習意欲のある生徒の学力向上に取り組む。

結果

①令和3年度全国学力・学習状況調査(国・数)「知識・技能」に関する調査では、どちらの教科も令和元年度の正答率を1pt程度上回った。

②令和3年度全国学力・学習状況調査(数)「思考・判断・表現」に関する調査では、令和元年度の正答率を1pt上回った。

③さいたま市学習状況調査「(5教科)の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合は、昨年度より2.4%上昇した。

今年度の振り返り・次年度に向けて

1人1台端末を活用してタブレット上でのまとめ活動を授業に取り入れたことで、生徒は意欲的に調べ、適切な表現でまとめる技能を身に付けることができた。今後はタブレットを授業の中でより効果的に活用できる場面を設定するとともに、基礎学力の向上にも役立てていきたい。